

- 問1 平安時代に藤原氏が摂政とともに就任し、政治の実権を握った官職を何という？
- 問2 比叡山で修行を積み、後に鎌倉時代に新しい宗派を広めた指導者たちの総称を何という？
- 問3 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？
- 問4 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の後は誰？
- 問5 平安時代中期に『枕草子』を著し、宮廷生活の機微を描いた人物は誰？
- 問6 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？
- 問7 939年、関東地方を拠点として朝廷に反旗をひるがえした武士は誰？
- 問8 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？
- 問9 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
- 問10 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
- 問11 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？
- 問12 平安時代に遣唐使の廃止などを背景に栄えた、日本の風土に合わせた独自の文化を何という？
- 問13 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性作家は誰？
- 問14 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？
- 問15 摂関政治を抑制し、独自の権力を取り戻そうとした天皇は誰？
- 問16 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？
- 問17 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 問18 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？
- 問19 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？
- 問20 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？
- 問21 中国で長く繁栄した王朝である唐が滅亡したのは何年？
- 問22 遣唐使の停止以降、中国文化を日本の風土に合わせて日本独自に発展させた文化を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 関白	「摂政」は天皇が幼少の時に代わって政治を行い、「関白」は天皇が成人した後政治を補佐する役割を持つ役職です。藤原氏はこれらの役職を独占することで、天皇を陰から操り、朝廷での最高権力者として君臨しました。これが摂関政治の仕組みです。
問2	答え 鎌倉新仏教	比叡山延暦寺は、当時最高の仏教教育機関でした。そこで学んだ法然、親鸞、道元、日蓮、栄西などは、厳しい修行や学問が困難な民衆や武士のために、より平易な教えを創設しました。これが鎌倉新仏教と呼ばれる一連の宗派です。「専修念仏」や「坐禅」など、個人の信仰のあり方を重視したのが特徴です。
問3	答え 浄土信仰	浄土信仰は、阿彌陀仏を信じ、その名（南無阿彌陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行くことができるという教えです。当時の貴族たちは、自分の館や寺院の建物に阿彌陀仏を安置し、豪華な飾りつけをすることで、現世に極楽浄土を再現しようとしました。平等院鳳凰堂はその代表例です。
問4	答え 中宮定子	中宮定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。彼女に仕えた清少納言は、その優雅な振る舞いやサロンの様子を『枕草子』の中に書き残しました。定子は、平安貴族の優雅な生活を象徴する存在の一人です。
問5	答え 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕えた女房です。彼女の代表作『枕草子』は、「春はあけぼの」という有名な書き出しで始まる随筆です。宮廷生活の中での出来事や、自然の美しさに対する鋭い観察眼と、彼女自身の機知に富んだ考え方がユーモアを交えてつづられています。当時の貴族社会の価値観や美的センスを知るための極めて重要な資料です。
問6	答え 武士	武士は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。彼らは互いに団結して武士団を形成し、朝廷の命を受けて反乱の鎮圧などを担うことで、次第に力を蓄えていきました。
問7	答え 平将門	平将門は、関東の有力者として朝廷の支配に対して反乱を起こしました。勢力を拡大した将門は、自らを「新皇」と名乗り、独立した政権の樹立を目指しました。この乱は、当時の朝廷に大きな衝撃を与えました。
問8	答え 紫式部	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。この作品は、貴族社会の人間模様や恋愛、栄枯盛衰を細やかに描いた世界文学の傑作です。また、彼女が日々の生活や宮中の様子を書き留めた『紫式部日記』も、当時の歴史を知るための貴重な資料となっています。
問9	答え 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問10	答え 藤原道長	藤原道長は、四人の娘を次々と天皇の后とすることで、揺るぎない地位を築きました。自身が摂政や関白になることもありましたが、それ以上に天皇の外戚という立場で朝廷を掌握しました。彼が詠んだ歌は、自身の権勢が満月のように欠けるところがないと誇る自信に満ちたものです。
問11	答え 最澄	最澄は、唐に渡って天台の教えを学び、日本に帰国して比叡山に延暦寺を建立しました。彼は「すべての人が救われる」という平等を説き、厳しい修行を重視する天台宗を開きました。また、比叡山には多くの優れた僧が集まり、後の日本仏教界に多大な影響を与えました。
問12	答え 国風文化	国風文化は、平安時代の中頃から後半にかけて貴族を中心に発達した文化です。それまでの唐風の文化から脱却し、日本の自然や風土、日本人の心情に適した形へと発展しました。仮名文字の発明により、文学や芸術が非常に豊かになったのが特徴です。
問13	答え 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕える中で見聞したことや、四季の美しさなどを鋭い観察眼で書き記しました。これが日本最古の随筆である『枕草子』です。理知的な文体と、当時の宮廷社会の様子を描いた内容が特徴です。
問14	答え 古今和歌集	『古今和歌集』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。当時の洗練された貴族の生活や自然への思いが反映されており、後の文学作品に多大な影響を与えました。仮名文字を用いて書かれたことが特徴です。
問15	答え 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏の出身ではなかったため、藤原氏の影響をあまり受けずに即位しました。彼は藤原氏の干渉を排除して政治を行うため、記録荘園整理令などの政策を打ち出し、天皇中心の政治を復活させようとしました。この動きが、のちの院政へとつながる重要な転換点となりました。
問16	答え 大宰府	道真の急激な昇進に嫉妬した藤原氏などの貴族によって、道真は無実の罪を着せられ、九州の大宰府へ左遷されました。道真はそこで失意のうちに亡くなりましたが、その後、都では道真の怨霊の仕業とされる天災や異変が相次ぎました。
問17	答え 東北地方	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしました。朝廷は多賀城などの拠点を作り、軍事的に征討を試みました。
問18	答え 藤原道長	藤原道長はその摂関政治の頂点に立った人物です。娘の彰子を一条天皇の中宮にするなど、一族の女性を権力の中核に送り込みました。「この世をば…」で始まる望月の歌は、彼が自身の権力の絶頂期を月になぞらえて詠んだものとして非常に有名です。
問19	答え 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問20	答え かな文字	かな文字は、漢字の一部を省略したり、崩したりして作られた文字体系です。平安時代になると、この文字を使って自分の感情や日常を表現することが貴族社会で流行しました。これにより、漢文のような堅苦しい文章だけでなく、感情豊かな日本語による文学が発展しました。
問21	答え 907年	907年、唐は朱全忠によって滅ぼされました。これにより中国は「五代十国」と呼ばれる分裂の時代へと突入しました。
問22	答え 国風文化	国風文化は、仮名の発明による物語文学（源氏物語など）の発展や、寝殿造のような日本独自の建築様式が特徴です。貴族の生活の中で、四季の移ろいや美しさを愛でる優雅な芸術が発展しました。